

I. 開催事項

1. 開催日時

令和8年3月9日（月） 午後6時00分～午後6時54分

2. 開催場所

5-B会議室（長浜市八幡東町632番地 長浜市役所5階）

3. 出席委員

委員 平井敏孝  
委員 藤居みよし  
委員 山田純子  
委員 川瀬寛子  
委員 中山郁英  
委員 織田しげみ（委任）

4. 欠席委員

委員 辻延浩  
委員 宮本麻里  
委員 河瀬賀行  
委員 北居理恵

5. 出席事務局職員

教育部長	大音洋
次長	伊吹定浩
次長	馬淵康至
教育総務課長	藤田哲夫
教育改革推進課	成田健
教育指導課長	細江秀樹
学校給食課長	塩津浩美
幼児課長	森靖
教育センター室長	野村由紀子
生涯学習課長	川嶋敦子
生涯学習課担当課長	森佐江子
教育総務課長代理	野邊誠
教育総務課係長	川瀬奈津代
教育総務課主査	五十嵐亮平

6. 傍聴者

なし

## II. 会議次第

### 1. 開 会

### 2. 議 事

(1) 前回の会議録について

(2) パブリックコメントの実施結果の修正について

### 3. 閉 会

## III 議事の概要

### 1. 開 会

委員長：確認ですが、今の説明でいくと今回新たに追加となったパブリックコメントの意見については、この要望に対して答えるということで、計画案そのものの修正は基本的には行わないという考え方ですか。

教育総務課長：委員会では一旦、そのように整理をさせていただいたということです。それでいいのかという部分も含めまして、本日、委員の皆様にご意見を頂戴できればと考えております。

送らせていただいたこの資料のとおり、計画本編は触らずに、いただいた追加の意見について丁寧に回答させていただこうかなと考えております。

### 2. 議 事

(1) 前回の会議録について

質疑なし

(2) パブリックコメントの実施結果の修正について

委員長：それでは、今ほど報告をいただいたところですが、説明していただきましたように、今回反映されていなかったパブリックコメントのご意見については、計画案の修正は行わず、パブリックコメントの意見に対する市の考え方への追記を行うことにされたということです。

今ご説明をいただいたことが、この内容になると思うのですが、大変丁寧に1つ1つのご意見に対して、真摯な形でお答えをさせていただいているなというのが私の感想です。委員の皆さんには事前に確認をされたということが、今のお話にもありましたし、私も説明していただいたところです。

ご説明にありましたように、その後、青色の文字が入っている部分について、委員の皆さんからいただいたご意見を反映して、再度少し加筆修正をさせていただいているということです。これを見ていただくのは今日が初めてだと思いますので見ていただきまして、その後、ご意見がありましたら賜りたいと思います。しばらく時間をとらせていただきます。

委員：先に教えていただきたいのですが、7ページのNo 20にありますご意見のQ u b e n aというのは、ソフトの名前ですか。

教育改革推進課長：タブレット上で取り組んでいるAI型ドリルソフトの名前にな

ります。小学校3年生から中学校3年生まで導入しているものです。

委員：最初にご説明いただきましたL o G oフォームからメールがあったということなのですが、きずなネットやキッズビューに載せることによって、これだけたくさんの方の目に触れて、ご意見をくださったということなのですが、今後もういった形でキッズビューやきずなネットにいろいろな計画などを載せていこうと思われませんか。

結構仕事が膨大になるなと思いました。今後も載せていかれるとなると、丁寧に答えてくれるということが保護者間で知られると、おそらくすごく言いたかったことをどんどん載せてくるのではないかと思います。学校や園で聞いてみたいなことなどを載せてこられないかなど、少し思いました。どの程度までを載せていくのでしょうか。

今回は大きな計画ですので、すべてのご意見を載せられたと思うのですが、そのあたりはどのようにお考えなのでしょうか。

教育総務課長：実際には5年に1度の策定ということで、5年前にも同じ取組をしているのですが、市のホームページでの周知では、1名の方のご意見になったということも現実にございました。

確かにボリュームがある計画にはなるのですが、実際にお子さんをお持ちの保護者の方に見ていただくことが一番大事ですので、どんな意見でもいただきたいということで、今回は全保護者にご意見の照会をさせていただきましたので、こういった切実に考えていただいているご意見や思いを私たちも聞かせていただけました。

ですので、今、どの段階でどのレベルで掲載するかということは確かに難しいのですが、やはりいろいろな計画でパブリックコメントを各課が報告している中で、議会からもホームページを見る機会がたまたまなければ、本当に見ていただける機会がないまま終わっていますので、これでよいのかというご指摘いただいているのも事実としてあります。

今いただいたご意見もありますので、今後はご意見をいただく場合には、市のホームページだけでは前回の計画でもご意見が1名からだけでしたので、スマホですと手軽に見られますので、キッズビューなどで見て、市ではこんなことをやっているのだなと見ていただいて、そこからL o G oフォームでたとえ関心がある1つの項目だけでも、このように答えていただけたので、今後は、なるべく情報を発信していくのがこれからの流れなのかと考えております。

委員長：職員の皆さんの仕事があまりにも大変だと思いますので、また今後はA Iなども使いながら検討いただけたらと思います。

委員：意見ではないのですが、恐らく保護者さんかと思われるのですが、中学校の部活動に関していろいろと書いてあったのですが、保護者の仕事の内容であったり、家庭環境であったりやりたいのにできない子が増えていかないかと思われました。

学習面でも二極化が起きているという話は聞くのですが、そういった部活動に関しても、二極化が起きるようなことになり、勉強よりはスポーツで頑張りたいという子どもも中にはいると思いますので、スポーツが支えになって頑張れるというお子さんもいらっしゃると思いますので、いろいろとバスの送迎なども書い

てくださっていますので、そういった面で二極化が進まないように、やりたい部活動の活動ができるように、ぜひ教育委員会の委員、先生方を含めて、皆さんでそろって進めていただきたいと思います。

委員の地域に受皿があるのかなど、少しお話を伺いたいなと思っていたのですが、よかったらお願いします。

委員：現段階でおそらく、長浜市のほうでも部活動の地域移行については、着々と進めていただいているかと思います。

例えばある地区などがモデルケースになってすごく積極的に地域に関わっていくという貴重な発表を先日拝見しまして、別の地域ではここまではできなくてごめんなさいなど思いながらやっています。

ただし、そうは言っても、その地域コミュニティーを通じて部活動に関わっていくというのは、もうほぼ地域全体として、そういった子どもたちの未来を担っていくという姿、ルールというものが着々と敷かれているというのはすごくいいことなのだと思いますが、やはりその中でも地域として受け入れられるスポーツとお子さん方がやりたいスポーツとの整合性が取れない。そうするとやはりお金を払ってでもクラブチームに行ってしまうという現状があるというのがすごく残念な感じではあります。

そのあたりの地域に対する受皿というのは今後、ますます議論が活発になって、私がスポーツ推進員、または総合型スポーツクラブとしても、やはりこれからは全面的に協力していかなければいけないのかなというのは痛感している次第です。

ですので、私たちスポーツ推進委員、総合型スポーツクラブのスタッフとしても、やはり切実に現状と向かい合って、よりよい受皿、果ては長浜の未来の子どもたちが十分に活躍できるようにはしていきたいなという願いはあります。

やはり部活というのは、以前の会議でもお尋ねしたことがあるかと思うのですが、私の中ではやはり教育の一環でありますので、本当にその気持ちの部分、やはり部活というものはスポーツをするだけではないと思っています。それ以外での人間関係の構築であったり、もっとスポーツだけではなく、それに付随したいろいろなことを学べる貴重な機会だと確信しております。ですので、それに関してもやはり今後はいろいろと課題はあるとは思いますが、ますます頑張っていかなければという、ただの地域のものとしての意見です。

委員：スポーツのところで意見が出たので追加でお願いします。

この赤い字でたくさん書いてありますスポーツ少年団に関わっている、本当にスポットだけで関わっている者として言えるのは、スポーツの指導者は、以前は県単位だったのですが今は国単位になって、お金を払って、資格の講習を受けて、しかも更新資格をまた、お金を払って受けるようになってきています。ですので、こうやって講習を実施と書いてくださっているのですが、スポーツ少年団だけしか知らないの、他のクラブチームは分からないが、受皿的なところも少し変わってきていて、本当にコーチとしてあるべき姿なのか、その声かけは必要かということも割と勉強する機会がかなり増えてきていますので、おそらくこの意見を挙げてくださっている方はハラスメント教育や男女の性差のことなども、すごくいろいろなことを気にしておられると思いますので、指導者も頑張っているということが少し、どこかにあれば多少の負担も、あの先生に教えてもらえるなら頑張

るかといったモチベーションにつながればと思っています。

私の個人的な思いです。

教育指導課長：ご意見をありがとうございます。

昨年の11月に部活動の室を立ち上げまして、これから子どもたちが活躍できる、また、どのような形で子どもたちが部活動から地域展開のところで困らないようにしていくかということを考えています。

今言われた指導者についても、実はどうしていくのかという規定もやはり大事なところで、講習を受けて、しっかりとした指導力を持った方でなければクラブ認定はなかなかできないだろうということで、今その規約の作成もさせていただいているところです。

本当にこのまま放っておくと、さらに子どもたちの部活動が成り立たない状況になりますので、そこを何とか北のチームで固めて、何とかチームができないか、近くのところで部活動ができないかななどを、全ての方にアンケートをとって、今あるクラブチームを活用して、ぜひ中学校を受け入れていただけませんかとお聞きすると、多くのところが受け入れてもいいよと言っています。ですので、その部分の整合をやっていかなければいけないかなと今、計画をしているところです。

先ほど言われたように、中学校の部活動と地域の部活動となると、やはり一貫性を持たせないといけませんので、その部分も今後、学習指導要領の中には盛り込まれてくるだろうと、まだ、未定なのですがそういった情報もありますので、そのあたりは国の状況と合わせて我々ができること、まずはやっていかないとはいえないかなと思っています。

ですので、今、言われたご意見も含めて、この中の回答として、どのように入れていくのかということになるのですが、指導者の方も頑張っていますよということを入れていくのかという部分なのですが、できれば入れさせていただきながら回答していきたいなと思います。ご意見ありがとうございます。

委員長：事務局にお任せするということですね。もし、このままで理解できるのであればこのままで良いということですね。

教育指導課長：そうですね。それで一度考えさせていただきます。

委員長：それでは、皆さんのいろいろな思いを聞かせていただきまして、ありがとうございました。

それでは、本策定委員会としていただきました追加の意見については、事務局案のとおりということで、少し修正とまでは言いませんが、考えていただくところは部分的にございましたが、基本的には修正を行うことはなしということで、パブリックコメントの意見に対する市の考え方への追記ということで回答いただくということにしてよろしいでしょうか。ありがとうございます。

では、ご異議もないようですので事務局案のとおりといたします。

### 3. 閉 会